



# 去る8月「日中友好東北信越農民の船」に参加した大別当の小湊文隆さん(26)に研修報告を寄せていただきました。

(前回九月号に続く)

## 「農民の船」中国の農業を見て

### 大別当 小湊文隆 (26)

八月十日から二十六日まで「農民の船」に参加し中国を訪問してきました。中国は建国以来農業を基礎とし工業を尊重とする大方針のもとに自力更生、刻苦奮闘の精神で農業と工業の調和のとれた発達を遂げています。そんな中国を人民公社、工場、学校、病院、体育学院、工業館や故宮、万里の長城等の名所、旧跡などを回って来ました。

十四日の朝上海上陸「熱烈歓迎」の中で各地の訪問が始まりました。最初は人民公社。人民公社とは日

があまりのので毎月貯金している。世界の状況はラジオと新聞でわかる。仕事は一日八時間労働で毎月二日の休みがある。作業に入る前と毎週木曜日の夕食後一時間は政治思想などの勉強をするという。さらには自留地といって自分の土地があり生活は楽だということでした。

本でいけば農村のようなものです。そこでは農場と農村工場を見学しました。中国では人民公社の中に必ず工場があるといっています。ここでは農機具の部品と竹を材料とした農具を作っていました。自力更生の一部分だと思います。その後観

驚いたことに切開場所からは、一滴の血も見れないことでした。針だけでも麻酔と止血ができるということ。今、中国では東洋医学と西洋医学の結合が盛んだということ。また十六日には工業展覧館と農業展覧館を見学、自力更生で造った耕転機、もみすり機

最後の訪問地北京は中国の首都で天津から汽車で約二時間半の所にあります。この日の日程は大半が観光で天安門広場、故宮、最後に六千kmともいわれる万里の長城を見学、これを最後に天津にもどり船で帰国の途につきました。



今年度の「新潟米」生産技術競作会のチャンピオンを決定する最終審査がこの程行なわれ木滑の市島重秋さんが見事、その栄冠を勝ち取りました。

この競作会は、「新潟米」生産推進運動の一環として越路早生、コシヒカリを対象として越路早生、コシヒカリを対象として四十年行なっているもので手植えを四十四年、機械植えを四十一年の越路早生のみ八十五点を審査いたしました。本年は、植え付け前後の低温により生育は緩慢であったが、その後の好天により順調に進み八月十五日現在では作況指数「一〇八」、十アール当り収量も五一・八kgで史上最高の四十二年と同数値と発表されるに至った。しかし、台風六号、その後の干ばつにより期待されるほどの収量が心配される

ところであった。幸い、最高推定収量は昨年と比し三十六kg、平均収量においても四十数kgを上廻る成績となり豊作の喜びががみしめられたようでした。

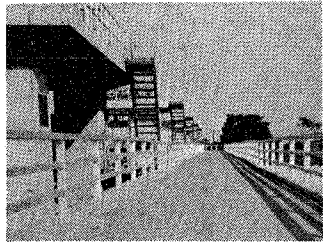
## 今年のチャンピオンは 766kg 越路早生

一位	山田育雄	七二〇kg
二位	井沢義明	七〇七kg
三位	竹石博	七〇六kg
四位	山崎辰一郎	七〇六kg
五位	鏡 孫衛	六九〇kg
六位	鷲尾良宣	六四八kg



手植えの部 一位 市島重秋 七六六kg

## 頭首工管理橋が通行可能



上流部頭首工の一般住民の通行許可が十一月一日より開始されましたのでお知らせ致します。

## 不況対策特別資金の延長

最近の著しい景気停滞等により中小企業の経済に不安をあたえております。この不況を解消し、中小企業者が経営を安定ならしむる為に実施される融資制度です。

1. 貸付期間 二年以内(うち据置期間六か月以内)
2. 担保等 取扱金融機関の定めるところによる。
3. 貸付利率 年七・五〇% (昭和五十年十一月一日貸付実行から適用)
4. 貸付限度 二〇〇万円
5. 特別保証 無担保、無保証人(信用保証協会保証)
6. 申込先 申込者の住所又は事業所所在地の商工会

取扱い期間 昭和四十九年十一月一日から昭和五十一年三月三十一日までとし、申込期限は、おおむね昭和五十一年二月二十八日までとする。

## 県道糸郷屋(白根線)舗装工事始まる

県道糸郷屋(白根線)路線変更未舗装延長六六四米)うち三三〇米、福田道路KK請負で舗装工事が進められています。工期十二月末日となっていますが、十一月中に完成の見込みです。残余については来年度施行の予定です。

村道月漏地内二路線改良舗装工事着手